

# 献血基準

健康な方であれば、献血による身体への影響はほとんどありません。しかし、体調を崩していたり健康状態の良くない時に献血をすると、健康を損ねる場合もあります。

献血者の健康を守り、また輸血を受けられる方の安全性を高めるために、さまざまな基準を設けています。

## 献血方法別の献血基準

### 採血基準

献血いただく方の健康を守るために、さまざまな基準を設けています。

#### 献血方法別の採血基準

項目	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血 <sup>けっしょう</sup>	血小板成分献血
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下 (循環血液量の12%)	
年齢	16歳～69歳 <sup>*1</sup>	男性:17歳～69歳 <sup>*1</sup> 女性:18歳～69歳 <sup>*1</sup>	18歳～69歳 <sup>*1</sup>	男性:18歳～69歳 <sup>*1</sup> 女性:18歳～54歳
体重	男性:45kg以上 女性:40kg以上	男女とも 50kg以上	男性:45kg以上 女性:40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が標準値にある女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
血小板数	—		—	15万/ $\mu$ L以上
1年 <sup>*2</sup> に献血できる回数 (1年は52週として換算)	男性:6回以内 女性:4回以内	男性:3回以内 女性:2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
1年 <sup>*2</sup> に献血できる 総献血量 (1年は52週として換算)	200mL献血と400mL献血合わせて 男性:1,200mL以内 女性:800mL以内		—	—

#### 献血の間隔

今回の献血	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血 <sup>*3</sup>
200mL献血	男女とも4週間後の同じ 曜日から献血できます	男性は12週間後・女性は16週間後 の同じ曜日から献血できます	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます	
400mL献血		男女とも8週間後の同じ 曜日から献血できます		
血漿成分献血				
血小板成分献血				

採血基準は、献血にご協力いただける方の健康を保護するために、国が定めたもので、採血の実施は、問診結果等を踏まえて総合的に判断します。

※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までに献血の経験がある方に限られます。

※2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

※3 血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。